

情報システム開発のエ
コインテック(岐阜市)
は中小企業向けに、PD
Fを利用して帳票データ
を自動で電子保存できる
仕組みを開発した。電子
取引情報の電子保存を義
務化した改正電子帳簿保

存法（電帳法）に対応し、中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を支援する。

2022年1月に施行された改正電帳法は、2年間の猶予を設けたうえで、メールやダウンロード方式、ファクスなどで受け取った領収書や請求書、注文書のデータを電子上で保存することを義務付けた。大手企業間では保存などを自動化する「EDI」（電子受発注）の構築が進むが、多くの中小企業ではデータを一つ一つ手作業でシステムに打ち込んでおり、多くの労力がかかっている。

エコインテックが開

「echo（エコー）DX」は、専用アプリから金額や取引日、取引先などのデータ自体をCSVファイルなどを使ってPDFに自動で添付。受け取る企業側も自社の基幹システムと互換性を持たせることで、簡単な操作でデータを取り出し自動で電子保存できる。

メールでやりとりする場合はパッケージソフトは無料で提供。エコー社は1時間当たり7500円(税抜き)の導入支援費のほか、件数に応じた月額使用料を受け取る。サーバーでPDFを長期管理する場合は別途費用がかかる。

7月1日に販売を開始し、23年までに10,000ユーザの契約を目指す。

名古屋	津	岐阜
052	059	058
1	1	1
243	228	262
1	1	1
333	333	484
2	6	7
1	5	